

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団
2009. 2. 18号

横浜市中区港町1-1 (市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

議員報酬削減を議会に提案

日本共産党横浜市議団は18日、市会議員の報酬を約1割削減する条例改正案を、無所属会派に所属する議員5名と共同して議会に提出しました。26日の本会議に上程の予定です。

自民・民主・公明は議員定数削減を主張

自民・民主・公明の各党は、昨年12月議会で横浜みどり税の導入賛成の討論の際、市民に負担増を求めたことを気にしてか、「議会も身を削るべき」として、「行政改革」や「経費削減」の観点から定数削減を主張しました。

「身を削る」はまっかなウソ

議員を削減すれば、議会全体の経費は減りますが、議員報酬を削減しなければ議員自身の「身を削る」ことになりません。

議員の削減によって「削られる」のは、議員の「身」ではなく、「民意」です。

全国で最低の一票の価値

議員1人当たりの人口は、全国17の政令都市の中で横浜市は最も多く、市民約4万人に1人の議員です。最も少ない静岡市では1万3500人に議員1人。横浜市の1票の価値は静岡市の3分の1にすぎないということです。

県内では、人口約22万人の茅ヶ崎、大和、厚木市の議員定数それぞれ30、29、28に対し、同じ人口規模の神奈川区、港南区の議員はともにわずか6人です。

議員報酬を1割減らせば

現在の議員報酬は月額97万円ですが、約1割減の87万円にすると、議員に係る議会経費の合計は議員定数を6～7人削減した場合と同等に減額されます(表参照)。

削減案は今年4月からの実施なので、新年度予算から経費が削減できます。一方、議員削減

改正案における議員報酬額

	現行	改正案
議長	1,200,000 円	1,080,000 円
副議長	1,080,000 円	970,000 円
委員長	1,000,000 円	900,000 円
副委員長	990,000 円	890,000 円
議員	970,000 円	870,000 円

議員に係る議会費(合計)

92人(現行)	2,329,956 千円
86人(▲6人)	2,178,002 千円
85人(▲7人)	2,152,676 千円

← ほぼ同額

議員1人あたりの議会費

	現行	議員報酬を月額87万円とした場合
議員報酬	16,878 千円	15,138 千円
政務調査費	6,600 千円	6,600 千円
視察関係費	620 千円	620 千円
共済負担金	1,228 千円	1,228 千円
合計	25,326 千円	23,586 千円
		× 92 人
合計		2,169,912 千円

では2011年の改選時以降にならないと経費削減にはなりません。

なお、無所属クラブ(7人)は9日、同様の請願を議長に提出しています。

視察の総点検でムダな視察の中止を

現在、常任委員会、議会運営委員会は年に2回の市外視察を行っており、その多くは2泊3日です。また、4年の任期中120万円(新人議員は60万円)を上限として海外視察が認められ、昨年は自民・民主・民主ヨコハマ会の議員が海外視察に行っています。

日本共産党は、本当に横浜市政のために必要なものかどうか、市内視察、海外視察を総点検し、ムダな視察をなくすことを提案しています。

